

第 263 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

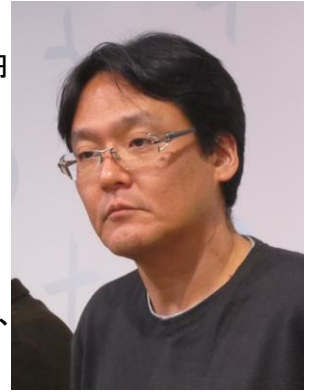
【 令和 6 年 12 月 10 日 (火) 開催 会場: YOXO BOX 】

1. フィジオロガス・テクノロジーズ株式会社 代表者 宮脇 一嘉 氏 (<https://physiologas.co.jp/>)

【住所】神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 北里大学内 【設立】2020 年 3 月 【資本金】1,000,000 千円

【事業概要】給水を不要にした在宅血液透析装置を開発している、北里大学発のスタートアップです。この装置は透析液をシステム内で再循環させる技術を採用し、給排水のインフラがなくても透析治療を可能にします。これにより、従来の装置と比べて設置や維持が容易で、患者が自宅で安心して治療を受けられるようサポートします。現在、非臨床試験の実施に向け、開発中です。上市後は、日本、米国、欧州などの主要市場はじめ、新興国や水インフラが整っていない地域にも展開予定です。

【コメント】全世界の末期腎不全の患者数は 1,000 万人以上に上ります。血液透析にはペイン施設血液透析、ベネフィット在宅透析があります。施設血液透析は 34 万人が受けているのに対して、在宅血液透析は 830 人しか受けていません。在宅血液透析市場は米国で 4 兆円、日本で 5,000 億円規模あると予測されています。将来的には更に小型でしかも持ち運びが出来るポータブルな透析装置を作って、患者さんの QOL を上げていきたいとおっしゃっていました。



2. 株式会社レココア 代表者 木月 浩平 氏、取締役 山田 真太郎 氏

(<https://service.reci-pro.com/>)

【住所】神奈川県横浜市港北区綱島西 1 丁目 11-10 【設立】2016 年 2 月

【資本金】3,000 千円

【事業概要】料理開発にはレシピ作成と一緒に、原価計算、作り方、盛り付け、味の特徴なども一緒に考えているが、現場スタッフは接客や調理、仕込みなどに時間を奪われてしまい、料理のレシピ管理のための PC 技術習得や更新にまでに時間をさくことができず、放置されていることが実状で、多くの飲食店経営者の悩みのタネのひとつだと思います。レココアは、飲食店運営のコアである「レシピを知的財産ととらえ」をもっと簡単に管理できて、より正確な価格や原価率を自動的に把握でき、誰でも直感的に作業できるようにと開発しました。現場スタッフの作業負担を減らし、より働きやすい環境をつくり、もっと現場で多くの価値を生み出していき、飲食業界を盛り上げるサポートしていきたいと思っています。昨今の飲食業界は原材料の高騰、値上げに踏み切れずにいます。現場に利益の見える化をし、安心して運営できる環境を提供し今後レココアが飲食のインフラになります。

【コメント】同社の理念は、『飲食店で働くすべての人の手間をなくすこと』。同社のサービスを導入するとメニューごとの細かい原価率の調整が可能になり、原価率 3%改善を実現しました。現在は世界情勢による原材料費の高騰により、利益率が減少し、原価管理の重要性が高まっています。飲食向けの DX 市場規模は約 5 兆円と予測されており、今後、3000 店舗の導入を目標としているそうです。



3. ジーニアルライト株式会社 代表者 下北 良 氏 (<https://www.geniallight.co.jp/>)

【住所】静岡県浜松市中央区常盤町 145 番地の 1 【設立】2006 年 11 月 【資本金】10,000 千円

【事業概要】

① 主軸事業:腎不全疾患の治療と仕事の両立や QOL の向上へ貢献を目的として透析市場で使用する小型な血液計測機器「Hct モニタ」を主軸に事業を展開しております。チューブ内に流れる血液をリアルタイムで計測して、透析機器へ血液情報をリアルタイムでフィードバックすることで、血液治療で必要となる血液治療機器への設定判断情報を提供する機器を透析機器メーカーへ販売する事業となります。

② その他事業:血液計測機器、診断薬を用いた計測機器、計測・制御機器の製品販売及び受託開発の事業を展開しております。

【特色】技術と品質に特色があります。

① 技術:アナログ設計をベースに光学設計、電気回路設計の豊富な経験を有し、小型で高精度に「血液」や「薬」の状態を計測する機器を作るのが得意です。

② 品質:医療機器や化学機器に必要な許可や規格を取得している体制を持っております。それにより、開発段階から臨床試験を交えた計測機器の設計が可能となり、血液治療市場の透析機器メーカー各社から血液計測のエビデンスで高い評価を得ております。

③ 取得許可・規格:ISO13485、医療機器製造販売業許可、高度管理医療機器販売業許可、医療機器製造業許可

【今後の展開】

<中期> 小型な血液計測機器「Hct モニタ」を国内外で販売し、50%以上のシェアを取得しニッチトップ企業を目指します。

<中長期> 血液治療という難易度が高い市場で、貢献できる血液計測で得た知見と経験を武器にケアサイクル全体に貢献できる企業を目指しております。

【コメント】同社は光産業創成大学院大学発ベンチャー企業。社名のジーニアルライトには、『あたたかい光を社会に照らしたい』という想いが込められているそうです。会社設立当初は光学センサーを軸に事業を行っていましたが現在は透析市場に参入。患者さんのケアサイクルに貢献出来る会社のプラットフォームとして、これから数年でシェアを拡大していきたいとおっしゃっていました。



【呉理事長からのご挨拶】

我々の活動は来年で 25 年を迎えます。ある方から「25 年というのは四半世紀になりますね」とおっしゃって頂きました。世の中が変わると思ってずっと信じて活動してきたのですが、思っていたよりも世の中は変わらないように感じていました。しかし、振り返ってみると、少しずつではありますが、変わってきているのでしょうか。学生時代から起業を志して短期間で成功している人も増えてきました。また、従来通り、長い間技術を磨き続け、成功へと進んでいる人達もいます。成功のパターンも多様化しているように感じています。

来年からこのビジネスプラン発表会は、横浜市からの要請で、みなとみらいにある『TECH HUB YOKOHAMA』に会場を変更いたします。しかも 2 月は第二火曜日が祝日のため、今回のみ水曜日に開催いたします。後日、ご案内状にて、詳細をご確認頂ければと思います。

そして本年、我々は日本だけではなく海外のネットワークをさらに広げていくため、中国の科学技術大学のシリコンバレー構想と連携を深めてきました。安徽省合肥市は中国科学技術大学を中心に、EV をはじめ様々なイノベーションを引き起こし、中国で物凄く成功している地域です。テクノロジーやアイデアは色々なところと連携することで、広がりが生まれ、社会実装に繋がると考えています。今後も様々なネットワークを繋げていきたいと思っています。『ネットワークの連鎖』は、大事なキーワードになります。本年もたくさんの方々にお越し頂きまして有難うございました。来年も引き続き宜しくお願い申し上げます。



☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 264 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

**来年 1 月はお休みさせていただきます。そして今後は会場が変更となり、みなとみらいでの開催となります。
そして 2 月の発表会だけは、第二火曜日が祝日なので、翌日水曜日の開催となり、
しかも開始時間も 30 分早くなりますので、お間違えの無いようお気を付け下さい！！**

【日 時】 令和 7 年 2 月 12 日(水)13:00~14:30

【会 場】 『 TECH HUB YOKOHAMA 』

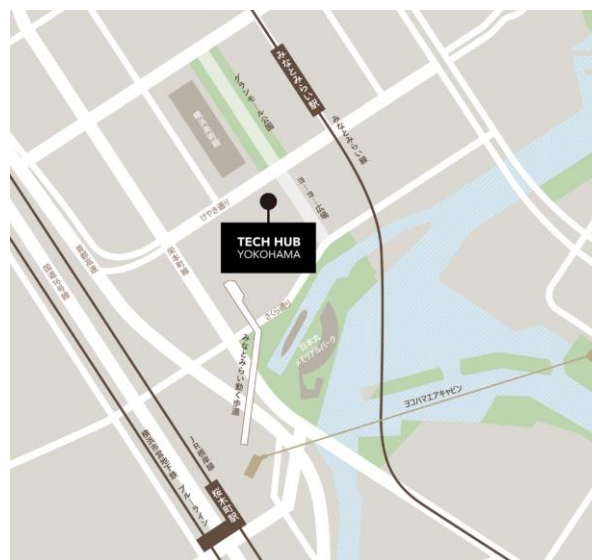
横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜ランドマークタワー敷地内25街区ギャラリー棟

・みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩6分

・JR線・横浜市営地下鉄 桜木町駅 徒歩7分

<https://techhub-yokohama.com/>

※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください



【感想】

今年最後の発表会となりましたがオンライン参加と会場参加を合わせますと総勢 40 名以上の方々にご参加を賜りました。今回はたまたま同じ分野の企業も重なりましたが、それぞれに目指すところがありますので、お互いに良い刺激になったのではないかと思います。

来年も魅力ある企業にたくさんご登壇頂きたいと願っております。

少し早いですが良い年末年始をお過ごし下さい。

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
(株)TNP スレッズオブライト
井 汲 美 樹